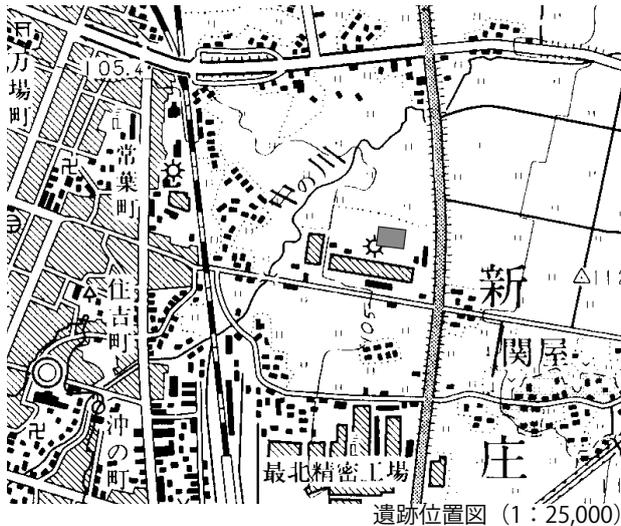


# なかせきや 中関屋遺跡

遺跡番号	205-128
調査回数	第1次
所在地	山形県新庄市大字金沢字中関屋
北緯・東経	38度46分06秒・140度18分35秒
調査委託者	山形県病院事業局県立病院課
起因事業	山形県立新庄病院改築整備事業
調査面積	1,840 m <sup>2</sup>
受託期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
現地調査	令和元年6月17日～8月27日
調査担当者	菅原哲文（現場責任者）・廣瀬美紀
調査協力	新庄市教育委員会・山形県最上教育事務所
遺跡種別	集落跡
時代	平安・縄文
遺構	掘立柱建物跡・溝跡・土坑・柱穴・ピット
遺物	縄文土器・石器・須恵器・土師器・銭貨（文化財認定箱数：8箱）



## 調査の概要

中関屋遺跡は、新庄市大字金沢字中関屋に所在する。最上川に合流する升形川の支流・中の川の左岸に立地し、標高は約107～108mを測る。山形県立新庄病院改築整備事業に伴い、平成30年に試掘調査を行った結果、新たに発見された遺跡である（図1）。先行して調査を開始した地区を1区とし、ボーリング調査にかかるため7月から着手した地区を2区とした。

## 遺構と遺物

平安時代の遺構として、掘立柱建物跡3棟、溝跡、

土坑、柱穴、ピットなどが確認された（図2参照）。

SB8 掘立柱建物跡は、2×2間の総柱と推定される。規模は4.2mの正方形である。また、SD1 溝跡に切られていることから、SB8の廃絶後に溝で囲まれた新しい集落ができたと考えられる。SB23 掘立柱建物跡の規模は、南北3間・東西2間、5.4m×4.6mである。また、東側に柱穴群が見られることから、建て替えや、別の建物跡が存在する可能性がある。SB42 掘立柱建物跡は現代の攪乱で切られており、2×2間以上、5.6m×4.0m以上の規模と推定される。SB8とSB42は建物の主軸方向が類似しており、同時期に建っていた可能性がある。またSB23は建物の軸線が溝跡と一致していることから、SB8・SB42より後出の新しい段階の建物の可能性がある。

SD1 溝跡は1区北側から2区西側にかけて検出され、幅90～130cm、深さ25～35cmほどの規模である。溝は集落跡を取り囲むようにめぐり、溝の北側や西側には遺構の分布はほとんど認められない。

遺物は主に須恵器・土師器などが出土し、9世紀第2四半期から第3四半期頃のものと思われる。捨て場と思われるSK20・21土坑は覆土に焼土を多く含み、須恵



写真1 調査区全景（北から）

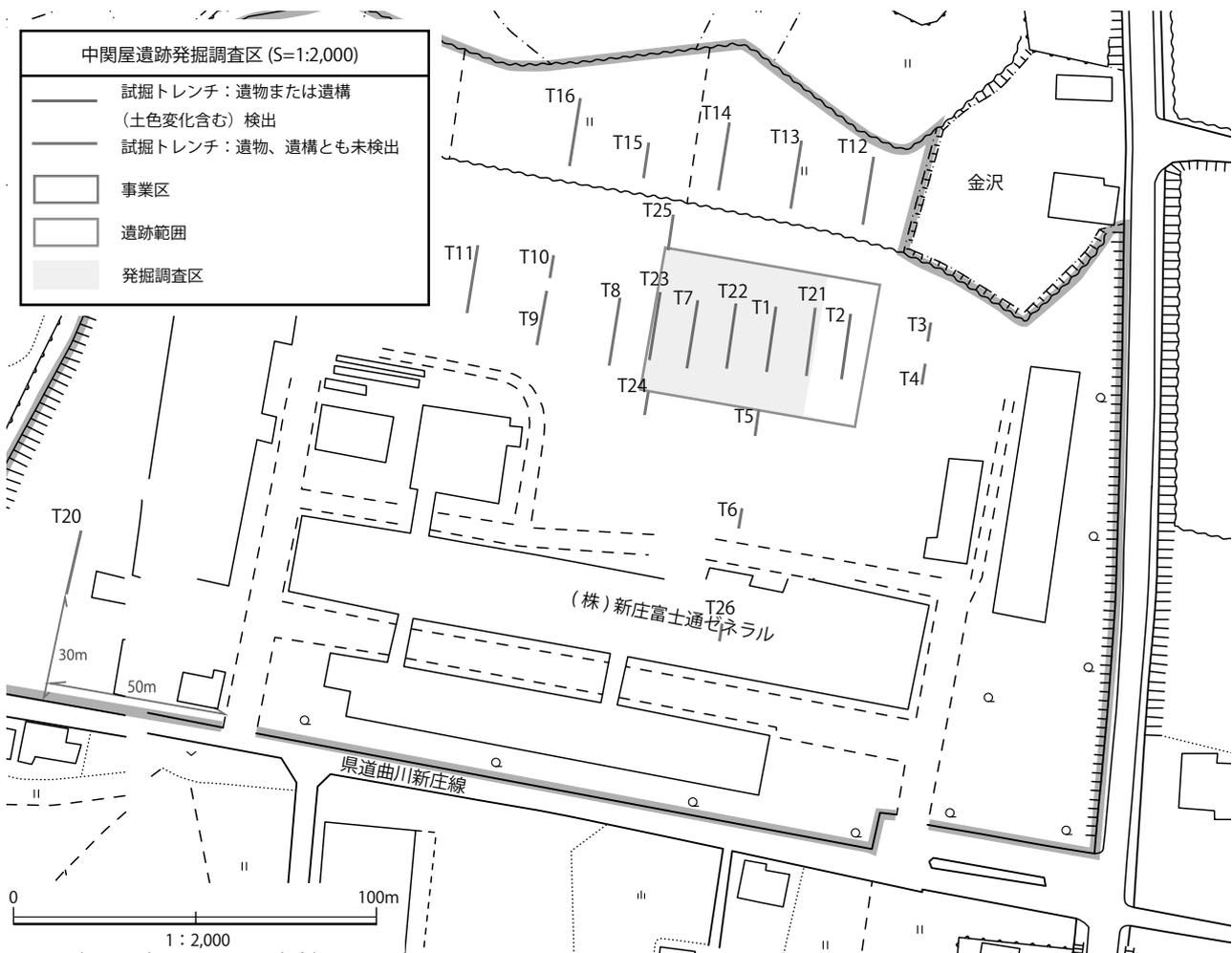


図1 調査区概要図

器・土師器片などが出土している。SK20からはてんようけん転用硯と思われる須恵器の蓋も出土した。SP41 柱穴からはほぼ完形の土師器の坏が出土し、柱を抜いた後に意図的に入れられた可能性がある。

須恵器・土師器以外の遺物として、SK22 土坑から銭貨が出土した。腐食のため銭種の特定はできなかった。また SB42EP47 柱穴底の下層からは縄文土器が出土し、溝跡からは剥片と石皿、SK22 からは石皿が出土した。縄文土器は前期初頭の深鉢で、石器はこの時期に伴うものと推定される。縄文土器が出土した層は、平安時代の遺構検出面より約 30 cm 下の暗褐色砂質シルト層中で、層厚は約 20 cm である。縄文土器の出土はこの地点のみで、他の遺構からは出土しなかった。平安時代の遺構面の下に縄文時代の遺構面が存在した可能性がある。

### まとめ

調査の結果、掘立柱建物跡を中心とした平安時代の集

落跡の様相が明らかになった。調査区は集落の北西隅と思われる、集落の中心地はより南や東側に存在していたと考えられる。周辺地域の集落の様相をみると、竪穴住居跡が主であり、それに掘立柱建物跡を伴う在り方が認められる。中関屋遺跡では掘立柱建物跡のみの検出であるが、調査区外に竪穴住居跡が存在していた可能性が考えられる。

転用硯や銭貨が出土したことから、文字を扱い、貨幣を保有していた人の存在がうかがわれる。また平安時代の土坑である SK22 から出土した石皿は、縄文時代のものをカマドの骨組みなどとして二次的に利用し、その後廃棄されたものと思われる。

新庄市では奈良・平安時代の調査遺跡が少なく不明な部分が多かったが、今回の調査で当地域の平安時代の集落の具体像が明らかとなった。

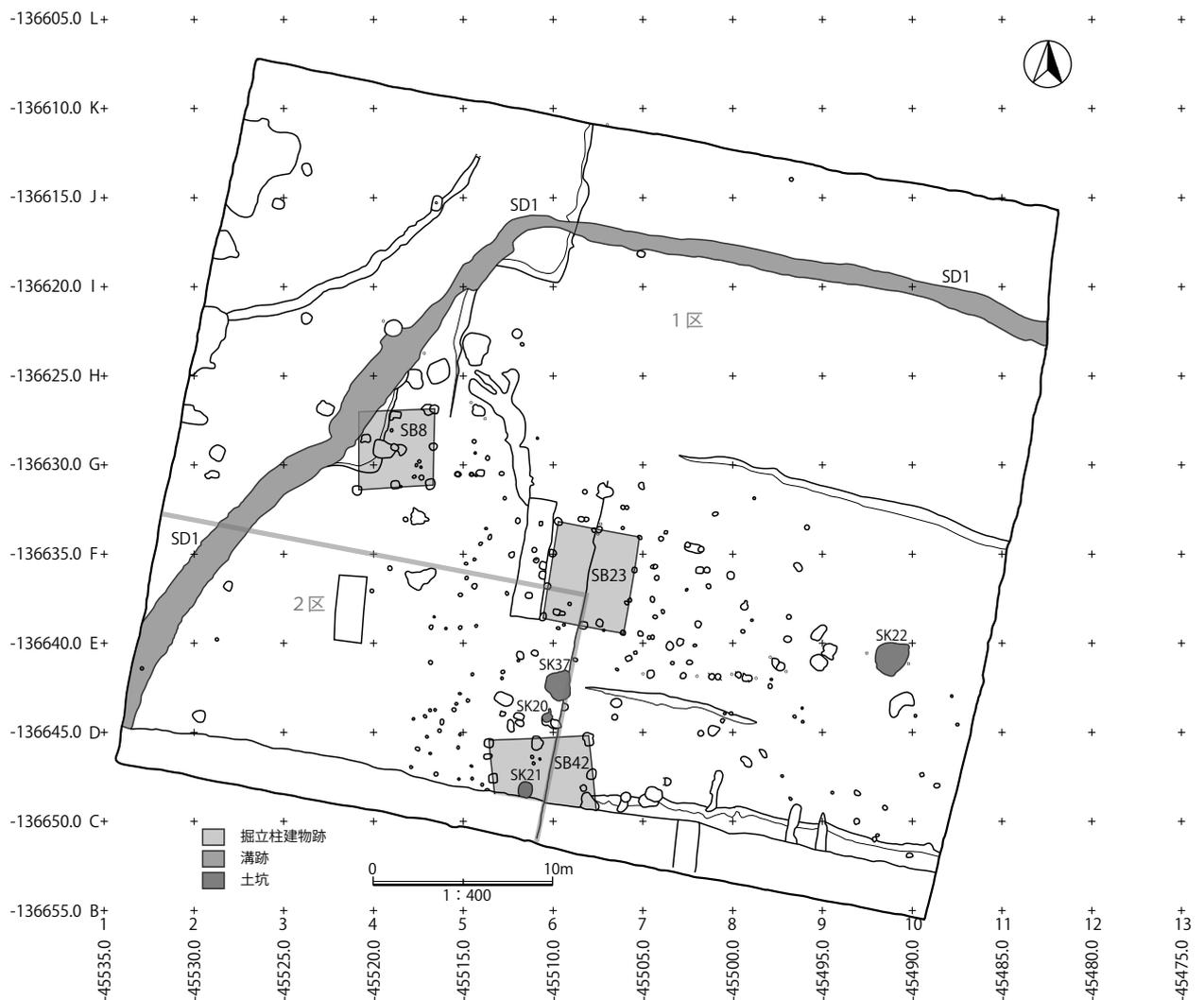


図2 遺構配置図



写真2 SB8 掘立柱建物跡完掘状況 (東から)



写真3 SB23 掘立柱建物跡完掘状況 (東から)



写真4 SB42 掘立柱建物跡完掘状況 (北から)



写真5 SD1 溝跡完掘状況 (東から)



写真6 SK20 土坑遺物出土状況 (北西から)



写真7 SP41 柱穴断面 (南東から)



写真8 出土した縄文土器と石器



写真9 出土した須恵器・土師器